

(5) 防災ハンドブック及びハザードマップの更新について

背景

- ・ 防災ハンドブック及びハザードマップの作成年度
→平成30年度事業で作成（令和元年度に全戸配布）
- ・ 作成から5年経過するが、防災情報は情勢や事例で常に更新され続けており、定期的な更新が必要
 - ①上位機関によるマップの更新が行われている（区域変更等）
 - ②ハザードマップに記載すべき情報が更新されている
 - ③機構改革により、部名や課名が変更されている
 - ④当時作成した部数（35,000部）の在庫切れ

進行状況

- ・ 更新作業が完了し、封入作業に入っている。
予定通り広報3月号に併せて、全戸配布を行う。

作成物及び数量

【作成物】 防災ハンドブック（冊子）、防災マップ（4枚）

【数量】 43,000部

（内訳）・全戸配布分 32,300部
・転入者等配布分 10,700部

主な変更点

【防災ハンドブック】

- ・ ペット避難に関する情報の充実
- ・ 子ども・女性の防災対策に関する情報の充実
- ・ 浸水想定区域内の要配慮者利用施設の一覧

【ハザードマップ】

- ・ 家屋倒壊等氾濫想定区域等の明示
→早期立退き避難が必要な区域
- ・ 水位観測所やCCTVカメラ位置の明示
→情報収集に関する情報
- ・ 浸水想定区域内の要配慮者利用施設の明示
→重要施設における視認性の確保

